

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	座間谷戸山公園
指定管理者	公益財団法人神奈川県公園協会
指定期間	H21.4.1 ~ H26.3.31
施設所管課	都市公園課（厚木土木事務所東部センター）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

今期は昨年度にも増して猛暑日が続き、目標人数は上回っているものの利用者数は昨年度よりも減少している状況であるが、事業計画に基づく多数のイベントは提案どおり実施しており、利用状況、収支状況とも問題がない。

なお、今期に行った満足度調査の結果においては、「再度来園したい」との意見が95%となっており、苦情要望に対しても適切に対応していることが確認できるためB判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	4月10日	7月23日	○	○	○	無	
5月	6月8日	7月27日	○	○	○	有	イベントは多数実施しているが、計画人数に対し実際の参加人数が少ないため、参加者増が図られるようより一層のPRを指示
6月	7月10日	7月31日	○	○	○	無	
7月	8月10日	9月26日	○	○	○	無	
8月	9月10日	10月11日	○	○	○	無	
9月	10月10日	確認中	○	○	○	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	本公園の特徴である、里山の自然環境を守るため、県民や市民団体と協働や連携して、調査、保全活動を推進する。	<p>月例の運営会議を実施するとともに、市民団体と協働で山野草・ホタル・カエル等の生息調査を実施した。また、公園主催行事「里山保全隊」による里山林の保全・整備活動は、園長を中心に職員が機械工具を安全に配慮しながら使用して行い、樹林地整備を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議(5回) 参加者79名 ・里山保全隊(6回) 参加者93名 ・花植えたい(20回) 参加者140名

	提案内容	実施状況
2	<p>木道等の施設、樹木等の安全のための点検、清掃、補修等を行い、来園者の安全確保に努めるとともに、防災・防犯のため、業者、警察、関係機関との連携を図る。</p>	<p>園内巡視は毎日行い、清掃や必要に応じて支障木の処理、施設補修を行なった。特に、園路上の高木上の枯枝の除去は、発見次第撤去するように対応した。</p>
3	<p>朝礼でのあいさつ唱和や所内会議を通じて、来園者への気持良い対応に努めるとともに、アンケート等を通して利用者ニーズの把握に努める。</p>	<p>毎日、朝礼でのあいさつ唱和を行ない、より良い接遇に努めるとともに、アンケートによる利用者満足度調査を8月に実施し、利用者ニーズの把握に努めた。</p>
4	<p>利用促進方策として、従来のイベントを継続するとともに、里山の自然や文化への探求心を深めるための新たなイベントを実施する。</p>	<p>「米作り隊」、「自然観察会」等を実施するとともに、「やとやま講座」を昨年同様に実施した。また、「生き物観察エリア」としての「みちくさ広場」で昆虫ウォッチングを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米作り隊3回 参加者145名 ・自然観察会6回 参加者131名 ・やとやま講座4回 参加者150名
5		

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		61,299	—	—	61,299	61,299	0
予算額	前年度	59,000	—	—	59,000	57,858	1,142
	上半期	29,350	—	—	29,350	27,005	2,345
	下半期	29,650	—	—	29,650	30,853	▲ 1,203
	今年度	59,000	—	—	59,000	59,000	0
	上半期	29,134	—	—	29,134	29,134	0
	下半期	29,866	—	—	29,866	29,866	0
上半期実績額	4月	3,775	—	—	3,775	3,369	406
	5月	3,723	—	—	3,723	3,566	157
	6月	6,559	—	—	6,559	6,571	▲ 12
	7月	5,163	—	—	5,163	3,706	1,457
	8月	4,132	—	—	4,132	3,998	134
	9月	5,782	—	—	5,782	4,205	1,577
	今年度 上半期合計	29,134	—	—	29,134	25,415	3,719
	前年度 上半期合計	29,350	—	—	29,350	27,005	2,345
	対前年度上半期比				▲ 0.7%	▲ 5.9%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	○	上半期の夏の酷暑等の影響により、施設修繕や植物管理など作業効率を考慮した上で下半期に重点的に実施することにしたため支出額が少なくなっている。
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：300千円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	672	ふれあい広場造成(315千円)、井戸ポンプ制御盤補修(357千円)
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	30,567 人	31,520 人	▲ 3.0 %
5月	32,245 人	31,941 人	1.0 %
6月	36,363 人	35,971 人	1.1 %
7月	29,722 人	32,802 人	▲ 9.4 %
8月	28,895 人	30,052 人	▲ 3.9 %
9月	28,594 人	33,312 人	▲ 14.2 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	177,000 人	186,386 人	195,598 人	5.4 %	▲ 4.8 %
今年度下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	4 (0)	1 (0)	4 (0)	1 (0)	0 (0)	10 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	里山体験館の利用時間について、16:30で雨戸をしめているが、日の長い7~9月頃までは17時までの開放をお願いしたい。管理主任の出勤日だけでもよい。	里山体験館の開館時間については、県土木事務所と調整中。
職員対応		
事業内容		
その他	多目的広場の芝生でゴルフの素振りをしている人がいるので、注意してほしい。 池に止まり木を作ってください。カワセミがよく止まっています。	管理員に注意に行くよう伝え、現地でその方に注意し、了解してもらった。また、現地にゴルフ禁止看板を追加した。 市民団体からも要望があるので、管理作業で発生した木材を利用して設置したい。(⇒その後、直営樹木伐採の発生材で止まり木を作り、設置した。)

8 事故や不祥事等の発生状況該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

<p>今期は昨年度にも増して猛暑日が続き、目標人数は上回っているものの利用者数は昨年度よりも減少している状況であるが、事業計画に基づくイベントは多数実施しており、利用者増に向けて努力していることが月例報告からも確認できる。</p> <p>今後はイベントにおけるPR方法について検討をするよう指導していく。</p> <p>なお、今期に行った満足度調査の結果においては、「再度来園したい」との意見が95%となっており、丁寧な日常管理の結果が評価につながっているものである。</p>
--